学校番号	327

令和８年度　国際教養科（国際文化科）

教科	国際教養	科目	フランス語会話Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	ぜんぶ話して！（改訂版）（白水社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常会話を重点に置き、発音の聞き取りや正しい発音が出せるように繰り返し練習を行い、会話文を練習した上で、少人数グループで練習する。フランス語圏の文化に触れながらフランス語を使う喜びを味わうこと。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

・学習を通して言語知識に加え、国の文化、価値観や歴史的な知識・理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】

・学習した語彙や文法、表現を使って情報を理解したり、伝えたいことを表現したりできる。

【学びに向かう力、人間性等】

・フランス語を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	フランス語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 フランス語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を目的や場面に応じて適切に活用できる技能を身につけている。	フランス語を使う場面において適切な表現を利用することができ、フランス語を通して必要な情報や考えなどの概要や要点を理解できる。	フランス語の背景にある文化に対する理解を深め、フランス語を利用して主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	leçon 1～3	基礎、アルファベット、綴り記号、発音のルール、挨拶・名前を聞く、言う 国籍や職業を尋ねる、それに答える。出身や学部を尋ねる、それに答える。être　動詞の活用。男性形と女性形。否定表現 さまざまな-er動詞を肯定・否定で使う。否定疑問形で尋ねる。それに答える。 名詞と定冠詞le/la/les 『好き』『嫌い』のさまざまな表現。préférerの活用	a:学習した語彙、表現、文法を理解しており、目的や場面に応じて使い分けることができる。 b:学習した語彙、表現、文法を使って、値段や位置関係、道順を相手に伝えることができる。 c:積極的に授業に参加し、自信をもって会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表
2学期	leçon 4～6	3つの疑問の形。『どこで』、誰と』、を尋ねる、それに答える。疑問詞où,d'où,avec qui 前置詞のàと定冠詞の縮約。不定冠詞。 avoirの活用　…を持っている持っていないを表現する。 形容詞の性・数の一致。avoirと否定のde 所有形容詞　s'appelerとfaireの活用。 疑問詞comment, quoi/qu'est-ce que/que	a:学習した語彙、表現、文法を理解しており、目的や場面に応じて使い分けることができる。 b:学習した語彙、表現、文法を使って、質問をしたり、天気や時刻について話したりすることができる。 c:積極的に授業に参加し、自信をもって会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表

3 学 期	leçon 7	faireで表すさまざまな活動（スポーツ、音楽）。 faireと否定のde sortir, dormir, voir, lireの活用 一年のまとめを行う。	a:学習した語彙、表現、文法を理解しており、目的や場面に応じて使い分けることができる。 b:学習した語彙、表現、文法を使って、質問したり自分の行動について話したりすることができる。 c:積極的に授業に参加し、自信をもって会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度